

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター

所管課 産業労働部 労政人材育成課

指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成23年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
山梨県職業能力開発協会		H23.4.1	～	H24.3.31	1年	16,594,000
山梨県職業能力開発協会		H24.4.1	～	H29.3.31	5年	67,436,000
山梨県職業能力開発協会		H29.4.1	～	R3.3.31	4年	56,165,208
山梨県職業能力開発協会		R3.4.1	～	R7.3.31	4年	58,749,000

2 施設の概要

所在地	甲府市大津町2130-2
設置年月日	平成23年4月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立中小企業人材開発センター設置及び管理条例
設置目的	労働者の職業能力の開発及び向上を促進するため、中小企業の事業主等の行う職業訓練を支援するとともに、技能検定試験を実施するための施設として、中小企業人材開発センターを設置する。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の管理に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 3,927.77㎡ ○建築延面積 ・主たる建物 1,791.87㎡ ・附属建物 490.97㎡ ○建物の構造 ・主たる建物 鉄筋コンクリート造3階建 ・附属建物:鉄骨造平屋建 ○施設の内容 ・会議室(81㎡,24人) ・第1～6研修室(54㎡,20～30人) ・第7研修室(74㎡,30～45人) ・実習室(81㎡,20人) ・視聴覚室兼大研修室(192㎡,96～144人) ・多目的実習場(全面400㎡,半面200㎡) ・敷地内駐車場(44台)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	H30.3.23 エアコン設置工事(7,128千円)

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	23,123,892	23,558,709	22,138,958	21,701,495	23,472,080	
支出合計	22,720,578	22,941,468	22,354,442	21,182,198	22,752,616	
収支差額	403,314	617,241	△ 215,484	519,297	719,464	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	52,985人	52,751人	17,344人	24,504人	27,754人	利用者数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和4年度)

労働者の職業能力開発及び向上を促進するために、職業訓練や技能検定試験を実施する施設であり、より多くの企業等に利用してもらえよう、利用者数増加及び稼働率向上を運営目標としている。
令和4年度も、新型コロナウイルス感染拡大対策の一環として、各研修室の利用人数の定員を制限したため、大規模な研修室の稼働は増加し、小規模な研修室の稼働は減少した。
そのため、利用料金収入は収支計画より増加し、稼働率も43.41%と前年度の実績値は上回ったが、利用者数は目標値に届かなかった。施設全体の利用者満足度は98%以上であった。

施設利用者数:運営目標35,100人 実績値27,754人
稼働率 :前年度実績38.7% 実績値43.41%

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

施設管理、運営業務、自主事業について、条例、協定及び業務計画に基づき、適正に履行された。
新型コロナウイルスの影響を受けながらも、令和2年度以降の利用者数は徐々に増加している状況である。また、令和4年度後半には、エネルギー価格の高騰を受け、電気料金等の値上がりの影響を受けたが、適切な施設管理・運営により、運営費の増加を抑えることができています。利用者の満足度は高く、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策も含めて、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。
引き続きサービスの維持に努め、新規利用者の獲得やリピーターの増加に取り組んで、利用率の向上を図ること。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながらの難しい管理運営が続く中、感染防止対策を講じながら、利用者の要望に可能な限り応え、サービス向上を図った。また、経年劣化した施設の修繕にも取り組み、安全や利便性を考慮した管理運営を行った。
さらなる利用者の増加と稼働率の向上を図るため、環境整備や自主事業の見直し等に取り組んでいる。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立中小企業人材開発センター
所管課 産業労働部 労政人材育成課
指定管理者 山梨県職業能力開発協会

1 利用状況

(単位:人、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	認定職業訓練	1,199	985	301	526	514
	技能検定	7,090	7,582	3,186	6,201	6,168
	研修・講習	34,390	34,455	10,532	13,931	16,209
	会議・その他	10,306	9,729	3,325	3,846	4,863
	利用者数合計	52,985	52,751	17,344	24,504	27,754
	目標値	52,500	53,000	53,500	34,800	35,100
	実績/目標割合	100.9%	99.5%	32.4%	70.4%	79.1%
目標値の設定方法	<p>平成28年度～令和元年度の利用実績の平均52,250人を令和3年度の目標とした。また、新型コロナウイルスの感染対策を講じた場合、施設全体の利用者数の上限が2/3程度となることから、感染対策を講じた場合の目標値を34,800名とし、両方を目標値と設定し、今後の動向に注視し決定する。</p> <p>なお、以降の目標値については、「通常時」を前年度目標値の450名増、「感染対策を講じた場合」を前年度目標値の300名増として設定。(令和4年度は、34,800+300=35,100人を目標値として設定)</p>					
利用率	稼働率等(利用率)	43.4%	48.6%	34.3%	38.7%	43.4%
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用室数/利用可能室数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨
----------	--------------------

3 補修工事等の状況(令和4年度)

(単位:円)

県	トイレ修繕	1,375,000
管	空調清掃、防虫対策	132,000
管	冷温水ポンプ修理	59,400
管	実習棟 南側エアコン修繕	115,500

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	売り上げの10%	37,123	
1	随意契約	1本 8.148円(サービス商品除く)	26,637	
1	随意契約	0%	0	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	ものづくり講座	一般	中小企業人材開発センター 研修室・実習棟
2	親子ものづくり講座	親子	中小企業人材開発センター 研修室・実習棟
3	キャリア促進講座	一般	中小企業人材開発センター 研修室
4	講師派遣事業	労働者	中小企業人材開発センター 研修室

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

7 利用者満足度

<p>実施方法等</p>	<p>実施時期:令和4年4月～令和5年3月 実施方法:利用当日、アンケート用紙を配布し、利用終了時に回収 回答数:758人</p>			
	<p>満足</p>	<p>どちらかといえば満足</p>	<p>どちらかといえば不満</p>	<p>不満</p>
<p>①施設のサービス提供</p>	<p>98.9%</p>	<p>1.1%</p>		
<p>②施設の整備状況</p>	<p>98.9%</p>	<p>1.1%</p>		
<p>③職員の対応</p>	<p>99.6%</p>	<p>0.4%</p>		
<p>施設全般の満足度</p>	<p>98.9%</p>	<p>1.1%</p>		
<p>利用者の主な意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・常日頃のご配慮に感謝しております。 ・立地等便利で助かっています。 ・研修室の冷房の効きが悪い。 			
<p>利用者の意見への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大を予防する目的で、窓開け換気を行っていることから、エアコンの使用のみで室内を快適な温度に保つ事は難しいことから、大型扇風機の貸出をした。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>令和4年度も引き続き、清掃、消毒作業を頻繁に行うと共に、換気を徹底するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に取り組むことにより、清潔で安心して使用して頂ける施設、設備を提供するよう努めた。</p> <p>また、施設や設備を安全に利用していただくために職員による清掃時の目視点検や、設備貸出前日の動作確認、また専門業者による各種点検を行った。</p>	<p>事業計画の施設の維持に関する業務に基づき、適正に実施されている。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止については、消毒の実施や換気を徹底して行っており、適正な施設管理が行われている。</p> <p>引き続き、関係法令を遵守し、利用者にとって安全で快適な施設管理に努めること。</p>
運営業務	<p>条例に基づいた管理運営を行った。</p> <p>運営方針である、労働者の職業訓練を支援する施設、技能検定を実施するための施設として不備がないよう業務を執行した。</p>	<p>条例及び利用規程に基づき、適正に運営されている。利用者の満足度も「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると100%であり、利用者の立場を考えた運営が行われていると判断できる。</p>
利用状況	<p>令和3年度と比較し、利用率、利用者数、共に上回る事ができた。</p> <p>感染拡大防止対策で各研修室の定員を制限しているため、小規模な研修室の利用率が伸びていない。</p> <p>また、運営方針である職業訓練、技能検定の実施での利用が新型コロナ感染拡大以前の水準に戻っていないことが今後の課題である。</p>	<p>目標値には届かなかったが、令和2年度以降徐々に利用者数が増加している状況であり、利用者の満足度も高いことから非常に高く評価することができる。</p> <p>また、コロナ禍により大きく変化した利用者のニーズやコロナ禍明けの利用者ニーズを考慮しながら講習内容等を検討し、積極的なPR活動を行い、できる限り利用者の増加及び稼働率の向上に取り組むこと。</p>
収支状況	<p>利用料金収入は予算額に対して、上回ることができたが、支出は光熱費の高騰により、予算額を上回った。</p>	<p>安心して利用できる施設の管理運営と利用者への丁寧な対応により、小規模研修室に比べ利用料金が高額であるにもかかわらず、大規模研修室の稼働が増加し、計画を上回る程の収入に繋がったことは高く評価できる。</p> <p>支出については、エネルギー価格の高騰により電気料金等が値上がりし、予算額を上回ってしまったが、電気使用量自体が増えているわけではない。県の電気調達一括入札に参加するなど、経費削減に努めているが、施設の魅力を維持しながら、さらなる経費の削減等に取り組むこと。</p>
自主事業	<p>施設の運営方針の一つとなっている労働者を対象とした職業訓練以外にもさまざまな世代の方にご利用していただくために、親子を対象としたものづくり講座の開催や、生活技術向上のために松の手入れ教室を開催した。</p> <p>令和5年度以降も更なる利用者が増えるよう、広報活動を行っていく。</p>	<p>自主事業は計画書に基づき、適正に実施されている。今後も利用者ニーズを把握し、効果的な事業を計画して施設の利用率の向上に努めること。</p>
利用者満足度	<p>概ね満足度は高い傾向であるが、一部で室内温度に対する不満の声も上がっている。一方では、“使いやすい”“また利用したい”等高い評価をいただくことが多い。</p> <p>引き続き、要望等に添えるように対応していきたい。</p>	<p>利用者満足度は高く、感染防止対策を含め、利用者の立場に立った運営がされていると評価できる。新たな利用者の確保とリピーターの増加を図るため、より一層のサービスの向上と事業の見直し等に努めること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
技能検定試験による施設利用者の確保	<p>技能検定の受検促進を図るため、技能検定による施設利用者数を評価指標とし、年間目標値を5,656人に設定。各学校や企業への通知やHPで周知し、実績が6,168人となり、実績が目標を上回る結果となった。</p>	<p>県内の技能士会とも連携し、会員企業等に技能検定受検のメリット等を伝え、引き続き受検者の確保を図ること。</p>
職業訓練や研修・講習による施設利用者の確保	<p>職業能力の開発・向上の促進を図るため、職業訓練や企業従業員向けの研修・講習による施設利用者数を評価指標とし、年間目標値を20,243人に設定。 実績は16,723人と目標を下回ったが、令和2年度以降徐々に施設利用者が増加してきており、今後の周知・PR活動に力を入れ、さらなる利用者の確保を図る。 なお、施設を利用した企業の満足度は高く、コロナ禍において難しい運営状況の中でも、利用者の立場に立った運営がされていると評価できる。</p>	<p>アフターコロナを見据えた、デジタル人材の育成をはじめ、時代に沿った人材育成の重要性を会員企業に周知するとともに、企業主催の研修等について、相談や提案をすることにより職業能力開発の促進を図ること。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在



施設長	1人
事務局長	1人
係長	1人
非常勤職員	4人
合計	7人